

いっばんしゃだんほうじん さとやませいぶつたようせい

## 一般社団法人 里山生物多様性プロジェクト

～南部町に日本の里山モデルを創る～



初めてつくるビオトープ



ガールスカウトとの交流事業

### 経緯

- 南部町では、高齢化や担い手不足により、耕作放棄地の増加と山野の荒廃に直面している。なんとかして「生き物を通じて農地や山林を元気にしたい」と発想。
- 農地や山野が持つ価値を多くの人に知ってもらおうと、人と生き物が集まるビオトープづくりから活動開始。

### 取組内容

- 耕作放棄地をビオトープにすることで、多様な生き物の生息場を確保。生き物調査体験会等を通じて、多くの世代にSDGsについて理解を促進。
- 自然保護の重要性や意義について認識を共有し深化させるため、県内外で環境保全や生物多様性の啓発に取り組んでいる多くの方と交流。
- 環境保全を専攻している学生のアイデアを積極的に取り入れた活動を実施。

### 活動の効果

- 多様な生き物が集まるビオトープを情報発信源とすることで、「里山の環境を保全することは重要である」という認識が広く深まっている。
- 若者が活動に参加することで、生物多様性の啓発のみでなく、地域文化の継承にも寄与している。
- 鳥取県が、身近な自然を認定する自然共生サイトに申請するなど、田畑や山野の価値が見直されてきている。

### 応募団体からのアピール・メッセージ

ビオトープは、田畑や山野を少ないコストで管理する方法の一つ。ビオトープから生物多様性の意義を発信し「自然の恵みの大切さ」を共有し続けます。

### 住所・電話番号・SNS等

西伯郡南部町鶴田461 日本インテライツ内 TEL:080-6313-8550

<https://www.facebook.com/satoyamabp/>

奨励賞

すげふくげんきむら

## 菅福元気邑

～農村の食文化や伝統行事を守り続ける～



美味しいと評判の豆腐づくり



元気邑のメンバー

## 経緯

- 地域の小学校の廃校を機に、食文化の継承と6次産業化による地域の活性化を目指し、菅福地区連合自治会を母体として結成した。
- 作った味噌等を注文のあった家庭に配達し、高齢者の見守りや玄関先でのおしゃべり等、住民とのコミュニケーションを図り、楽しく元気な村づくりを目指した。

## 取組内容

- 菅福食文化伝承館を活用し、古くは各家庭で作られていた味噌、豆腐、コンニャク、餅などを生産。
- 商品は、地元の原材料を使い、無添加にこだわり手作りし、商品を販売。
- 地域おこし協力隊員を長年受け入れ、隊員とともに地域活性化の取組を実施。
- 菅福地区連合自治会の活動に対して伝統料理を提供。

## 活動の効果

- 高齢化などでメンバーが変わっても、「地域食文化の伝承」の思いは世代交代しながらも引き継がれ、参加者への賃金も確保でき、楽しみながら活動している。
- 味噌、豆腐、コンニャク等は、地産地消として日野町及び米子市の学校給食に提供され好評を得ている。
- 母体である菅福地区連合自治会の事業活動に対して伝統料理を提供し、活動の側面的な支援を行っている。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

活動は、菅福地区連合自治会の事業に女性が参加しやすい環境となり、地域の活性化の一助となっており、今後も食文化の伝承とともに、地域の見守りや、だれもが元気で楽しく生活できる場の提供や生きがいづくりに繋げていきたい。

## 住所・電話番号・SNS等

日野郡日野町上菅664-4 TEL・0859-74-0335

記念賞  
応募にくこうぼう  
わかさ29工房

～山の恵み、宝として無駄のない利活用～



わかさ29工房での視察



東京ビッグサイトで国会議員と協会との講演

## 取組内容

- 農作物被害により捕獲された野生鳥獣を全頭受け入れ、廃棄を減らし有効活用することが一番の目的。
- 令和3年度は、若桜町と八頭町からシカ3,387頭、イノシシ313頭を受け入れ。メインの部位は県内外高級レストラン、学校給食等へ食材提供。それ以外の部分はペットフード等の原料として販売し、極力廃棄することなく運営。

## 前回選定後の情報発信の取組

- 平成30年から令和4年まで、東京都・大阪府・鳥取県で15回以上の講演を実施。
- 施設の視察受け入れ日数約170日。
- 東京都・大阪府・兵庫県・鳥取県で開催された各種イベントに約10回参加。
- 東京ビッグサイトでの講演は、農林水産省・国会議員などとの連携により、わかさ29工房の取組内容・実績・表彰履歴などを紹介。

## 前回選定後に発展させた取組及び成果

- 令和元年7月、国産ジビエ認証施設に認定、ジビエ振興を全国へ発信。
- 施設の人材育成と全国から新規に処理施設を建てる予定の地域からの視察受け入れ。
- 国産ジビエ認証施設のワーキンググループ発足。  
施設同士の情報共有・各施設の課題解決・経営面の取り組み・食材の需要供給など、横の繋がりを強化して広域連携をしている。WGの座長として取りまとめ役を担っている。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

ジビエは食材としてまだまだ認知度・馴染みの低さがあります。農作物被害の減少と日本でもジビエという食材が文化に定着するよう、今後も様々な角度から出来ることを少しずつでもやっいていこうという思いで取り組んでいます。命を無駄にしない。

## 住所・電話番号・SNS等

八頭郡若桜町若桜999-1 TEL:0858-71-0429